

令和6年度 第8回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和6年11月12日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第8回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和6年11月12日（月） 午前9時30分～10時30分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所4階402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大谷奈雅子 教育部長

鳥羽千晴 教育総務課長

小池信仁 こども未来課長

大田貴久 施設整備課長

岩本浩二 教育総務課副課長

大砂正則 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

清水将道 社会教育文化財課長

大北真彰 山崎学校給食センター所長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、飯田委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和6年度第7回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件
前回の会議録について、鳥羽教育総務課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

（1）12月議会に上程する補正予算及び条例制定・改正について

補正予算案及び条例改正に係る議案について、この後、担当課より説明する。

（2）第3回教育創造フォーラムについて

学校運営協議会をテーマとして、学校と地域が、学校づくりとともに地域づくりにつながるようなコミュニティースクールのあるべき姿を議論するため、教育創造フォーラムを令和

6年12月14日に総合教育センターで開催する。委員にも、別途ご案内する。

(3) 令和7年 しそう二十歳（はたち）の祝典について

令和7年1月12日（日）に、山崎文化会館において、しそう二十歳（はたち）の祝典を開催する。具体的な内容については、後ほど担当より説明する。

6 議事

議事に入る前に、中田教育長から、第5号議案及び第6号議案については、意思形成の中立性の観点等から非公開としたい旨の説明があり、委員全員「異議なし」であったため、非公開審議と決定した。

なお第5号議案及び第6号議案の審議は、「7 協議報告事項」の終了後、行うこととした。

第7号議案 令和7年度 宍粟市立学校教職員の人事異動方針（案）について

【9～10P】により、令和7年度宍粟市立学校教職員の人事異動を実施するにあたり、異動方針を決定する必要があるため中田学校教育課長が説明した。

審議の結果、第7号議案は、提案どおり可決した。

第8号議案 令和7年度 宍粟市立保育所・幼稚園・こども園職員の人事異動方針及び職員配置基準（案）について

【11～13P】により、令和7年度宍粟市立保育所、幼稚園・こども園職員の人事異動を実施するにあたり、異動方針及び配置基準を決定する必要があるため小池こども未来課長が説明した。

審議の結果、第7号議案は、提案どおり可決した。

委員の主な意見及び事務局の説明

（教育長）

第8号議案の13P「6. こども園配置基準③」について、4～5歳児は25名以内に修正するとの説明だったが、幼稚園の配置基準は30名以内となっている。その違いは何か。

（小池こども未来課長）

幼稚園の配置基準については、こども園に合わせて国も改正を検討されているようだが、現時点では通知等はない。改正された場合は国の基準に合わせる。

7 協議報告事項

(1) 令和7年度 宍粟市就学援助制度について

資料1【14～15P】により、鳥羽教育総務課長が説明した。

(2) 第3回しそう教育創造フォーラムについて

資料2【16P】により、中田学校教育課長が説明した。

(3) 令和6年度全国学力学習状況調査について

別冊資料により、中田学校教育課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

全国学力・学習状況調査の結果について、例年、パーセンテージ等の数字だけが示されている印象だったが、今回、学力向上に向けた取組の一部が紹介されており、こういった部分が非常に大事だと思う。今回広報で周知することで、市民の皆さんにも教育の大事な部分を知っていただくことができ、ありがたく感じる。

(中川委員)

全国学力・学習状況調査の結果の2ページに、中学3年生の国語が全国・県平均に比べて低くなっているが、前回の教育委員会で、中学校になったら読書活動の数値が下がっていたので、そういったことも関係しているのではないかと感じた。

国語は、文章を読み理解して自分の考えをまとめて表現することだと思うが、本を読んで、相手の気持ちを想像したり、次の展開を予想するなど、想像力のところで読書活動はとても大事だと思うので、読書活動についても引き続き大事に取り組んでいただきたい。

(中田学校教育課長)

学校においても、読書への取組については重要視されており、現在も全校生徒が読書をする「読書タイム」を市内の全中学校が取り組んでいる。

先ほどのご意見も各校の校長と共有し、さらなる活動につなげたい。

(清水社会教育文化財課長)

今年度、宍粟市子ども読書活動推進計画を策定する予定だが、その中では、学校・地域・家庭で読書活動を推進する内容となっており、先ほどご意見にあった学校の部分について、計画の内容と似ている部分がある。そのことも含め、社会教育としても読書活動を推進していきたい。

(教育長)

学校教育だけでは限界があり、習慣化するには時間がかかると思う。子どものみならず、市民全体が活字や読書に向かう土壌が形成されれば、子どもたちにも読書活動が定着していくと思う。

別冊広報の最後の今後の取組のなかで「各学校では学習習慣や読書週間の定着のために工夫して取り組んでいます。」とあるが、この工夫が実効性ある取組になるよう願う。

(4) 令和7年しそ二十歳（はたち）の祝典について

資料3【17～19P】により、清水社会教育文化財課長が説明した。

(5) S1グランプリ2024表彰式&講演会について

別紙資料により、鳥羽教育総務課長が説明した。

(6) その他

・しそよう幼児教育支援事業について

別紙資料により、小池こども未来課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

意見なし

●非公開議事

「6 議事」の第5号議案及び第6号議案の審議に入る。

第5号議案 令和6年度 宍粟市一般会計12月補正予算（教育委員会関係）案について

[Redacted content for Item 5]

第6号議案 宍粟市障害の表記を改めることに伴う関係条例の整理に関する条例案について

[Redacted content for Item 6]

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

学校給食センターの補正予算について、食材費の予算が175,272,000円という大きな額だが、これは児童生徒の給食費以外に、補助金が含まれた額か。

(大北山崎学校給食センター所長)

175,272,000円は、1年間分の給食材料費の金額であって、その財源としては児童・生徒・教職員の給食費、国庫補助、市の支援などがある。

8 次回会議の招集について

令和6年12月16日（月）午前9時30分から、宍粟市役所402・403会議室において、令和6年度第9回宍粟市教育委員会を開催することとした。

9 閉会

飯田委員が閉会した。